

カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)

車いすバスケットボール体験 ～2020年に向けたオリパラ教育～

校種	小	中	高	特	学年等	全学年	参加対象	生徒	家庭地域	教職員
教科等	体育					時期・時間	3学期(1月)・1.5時間			

1 プログラムのねらい

○県内の車いすバスケットボールチームである埼玉ライオンズなどの選手との交流を通じて障害者スポーツのファン増加と障害者への理解促進を目指す。

2 準備等

○車いす、バスケットボール、ビブス

3 取組の概要

1 選手による講和

埼玉ライオンズの森田俊光さんと斎藤智之さん、東京クルスの種池良太さんから、車いすで生活する上での課題や車いすバスケットボールの魅力などについて話をいただいた。



2 シュート練習

5班に分かれて車いすに乗ってシュートを練習した。



3 試合体験

斎藤さんと種池さんにも加わってもらい、生徒がそれぞれのチームに分かれて試合を実施した。

4 おすすめのポイント

○選手からの講話を聞くことで障害者への理解が深まった。また、諦めずに続けることの大切さを教えてもらった。

○車いすバスケットボールを実際に体験することで、競技の面白さや難しさを知り、障害者スポーツの理解を促進できた。また、パラリンピックの機運醸成に繋がった。